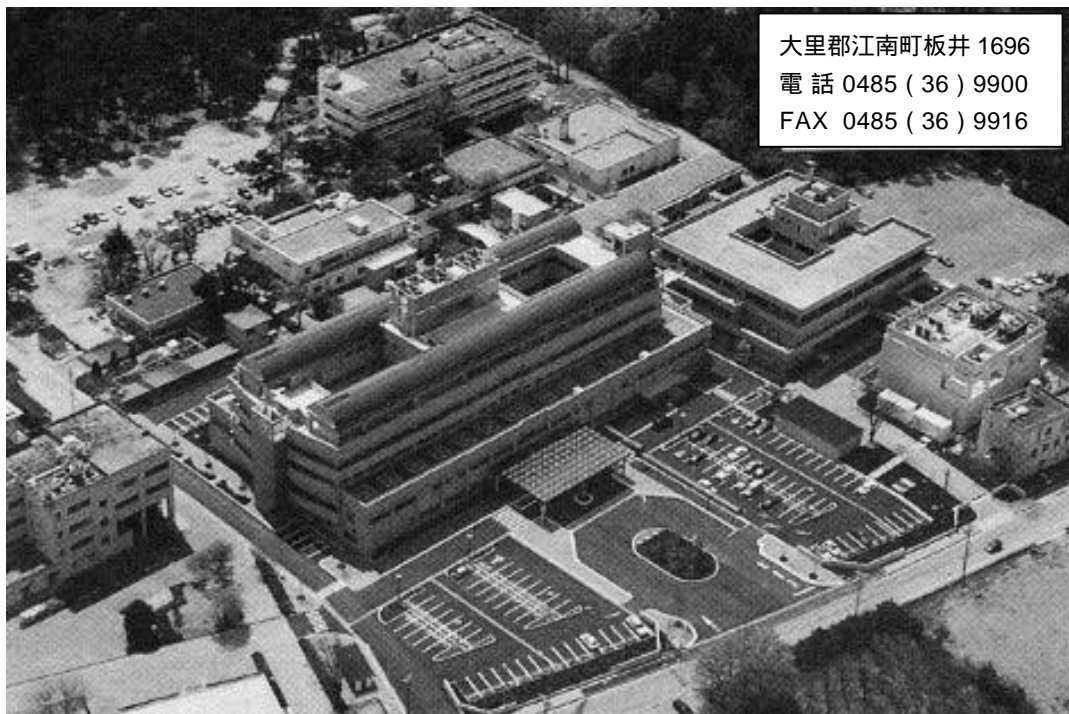


# 小原循環器病センターだより 創刊号



大里郡江南町板井 1696  
電話 0485 ( 36 ) 9900  
FAX 0485 ( 36 ) 9916

小原循環器病センター全景

## 発刊に当たって

総長 新井達太

爽やかな秋になりました。先生方にはご壮健にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

県立小原循環器病センターは、開院後2年半が経過いたしました。この間、先生方のご協力とご指導により順調に運営されておりますことを心から感謝申し上げます。開院時より「患者さんのための病院」を目標とし、患者さんを大切にし、患者さんに親切な医療を実践するためにスタッフ一同努力してまいりました。

この度「小原循環器病センターだより」を発刊させていただくことにいたしました。これは当センターの運営状況や、各科の診療の現況をお知らせし、当センターを先生方に身近なものとしてご利用いただき、病病連携、病診連携をさらに進めてまいりたいと考えたからでございます。

当センターは熊谷駅から西に車で約20分、15往復のバスが運行されています。病院は関東平野のまん中に位置し、関東一円の山々を遥かに望み、南は赤松の林に囲まれており、リゾートホテルの雰囲気があると患者さん達には好評でございます。先生もお暇な折り、是非ご来院いただき病院の設備やスタッフの働いている現場を見ていただきたいと存じます。ご予約がたちましたら、私（内線2000）か事務局管理部長（2510）にお電話いただければ、その日スタッフが病院をご案内させていただきます。

この「小原循環器病センターだより」により先生との交流がさらに進むことを願っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

# 各 科 紹 介

## 循 環 器 科

堀江俊伸、今井嘉門、諏訪二郎、小川洋司、芝田貴裕、武藤 誠、茂木純一  
早船直彦、渡辺絵里、小武海公明、岩野圭二、鈴木 禎、橋本浩一、志村由美

循環器科では狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、高血圧、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、大動脈疾患などの疾患について診断、治療にあたっています。外来での検査としては心電図、胸部X線写真の他に心エコー図、トレッドミル運動負荷試験、ホルター心電図などの生理機能検査、心筋シンチグラムなどの核医学検査を行っています。狭心症や心筋梗塞の虚血性心疾患については急性期により早く治療を開始することが必要であり、そのため当センターでは救急患者については24時間いつでも受け入れ、治療できる体制をとっています。本年4月にはCCU（5床）もオープンいたしました。

近年、虚血性心疾患の治療としてはパルーンカテーテルを用いて冠動脈狭窄部位を拡張させる冠動脈拡張療法が主として行われています。また不整脈に対するカテーテル焼しやく術やペースメーカー植え込み手術なども行っております。

今後とも御指導、御鞭撻よろしくお願い申し上げます。

## 循 環 器 小 児 科

富田 斉、斎藤明宏

循環器小児科では、週4日（木曜日を除く）外来を実施しております。近年、学校心電図検査の普及により、2次、3次健診で御紹介される患者さんが、年々増加傾向にあり、不整脈、先天性心疾患、心筋症など今まで見過ごされてきた疾患が早期に見つかるケースが増えております。また、カテーテル検査やカテーテルによる治療等も順調で、特に動脈管開存症に対するコイル閉塞術に関しては3/3例成功しております。手術に関しては、心臓血管外科と協力して術後管理を担当しております。僅か2名と弱小チームで、至らないところも多々ございますが、今後とも諸先生方のご期待に添うようがんばっていく所存です。どうかよろしくお願いいたします。

## 内 科、呼 吸 器 内 科

杉田 裕、高柳 昇、柳沢 勉、茂木 充、相原利一、松島秀和

結核、肺癌、びまん性肺疾患を中心に診療を行っております。結核による日本での死亡者の減少は著明ですが、WHOの報告では現在も世界中で一番死亡者数の多い疾患となっています。当科には、年間約200名の入院があり、7～8%の死亡者がおります。Doctor Shoppingによるdelay、重篤な合併症などが主な死因であります。一方、肺癌は現在、男性では胃癌を抜いて癌死亡者の第1位を占めています。早期の症例は外科手術に回り、内科に残る患者は、小細胞癌とステージ3-4の進行癌であり、放射線科の協力により化学療法、放射線治療を併用していますが、医療の限界を感じることはしばしばです。

びまん性肺疾患では、DPB、肺胞蛋白症、サルコイドーシスなど比較的希な症例も多く興味深いものです。気管支鏡検査は日常的であり、緊急の場合外来初診時にも実施可能ですが、感染症対策上なるべく1～2日後に実施するようにしています。AIDSが問題となってきており、結核、カリニ肺炎の患者の来院も考えられるため、今後とも十分な注意を払って診療して参る所存です。どうか今後とも御指導、御鞭撻よろしくお願い申し上げます。

## 呼吸器外科

黒沢知徳、星 永進、尾内弘次、青山克彦、村井克己、吉田卓義

呼吸器外科では、肺癌や転移性肺腫瘍に対する外科治療を中心として、縦隔腫瘍に対する外科治療、膿胸（結核性、非結核性）に対する外科治療、肺嚢胞症や自然気胸に対する外科治療、さらに肺結核等の合併症を有する消化器疾患に対する外科治療を行なっています。平成6年4月から胸腔鏡手術を導入しておりますが、現在は主として自然気胸症例に適応し、術後疼痛の緩和や入院日数の短縮の点で良好な結果を得ており、今後は早期肺癌や縦隔腫瘍にも適応を拡大していきたいと考えております。また、消化器外科領域では腹腔鏡手術の導入を予定しております。麻酔科、理学療法科のスタッフも充実しており、呼吸器外科病棟の看護スタッフとの協力のもと、近年増加しつつある高齢者に対する手術も安全に行なっております。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 脳神経外科

城下博夫、佐久間正、金子雅俊、高室 暁

本年4月に SCU（5床）がオープンしました。脳外科として破裂脳動脈瘤や基底核出血、頭部外傷、さらにライナーメスによる定位的放射線治療（RADIOSURGERY）で脳動静脈奇形や転移性脳腫瘍など症例数としてはまだまだ少ないですが一例一例を大切に治療してきたと思っております。さらに一般的には脳外科的治療の対象でないと考えられることの多い脳梗塞など急性期の虚血性脳血管障害も積極的に扱っています。実際、閉塞血管の血栓溶解療法や頸部頸動脈の内膜切除、血管吻合などの適応症例も検査をすれば潜在的にはかなりあるのではないかと考えられます。とくに虚血性脳血管障害における治療の“ゴールデンタイム”は6時間、さらに理想的には1～2時間のうちの再開通や脳保護が必要です。片麻痺やなにか急に起こった中枢神経障害の場合いつでもすぐに御連絡ください。脳神経外科4人のスタッフで単独の当直を組んでとにかく24時間いつでも急性期の脳血管障害に対応できるように頑張っていくつもりです。どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 心臓血管外科

新井達太、竹内成之、佐々木達海、橋本和弘、蜂谷 貴、小野口勝久、高倉宏充、青木功雄

平成6年4月6日に開院後第一例目の開心術を行って以来、体外循環を用いる手術は200例を超え、そのほかの手術を加えると300例以上の心臓血管に対する手術を行うことができました。これは地域の諸先生方の御協力によるものと、深く感謝申し上げます。手術の内容は虚血性心疾患に対するACバイパス術、心臓弁膜症に対する弁形成術や人工弁置換術、先天性心疾患に対する根治術、動脈瘤に対する人工血管置換術、閉塞性動脈硬化症に対するバイパス術、下肢静脈瘤に対するストリッピング術などです。当センターの特徴として70歳以上の高齢者に対する手術が全体の約25%を占め、20%が緊急手術となっており、重症の手術が多いといえます。心臓血管外科では24時間いつでも開心術に応じられるように、麻酔科医師、臨床工学士、看護婦と協力して、オンコール体制をとっており、諸先生方の御期待に添うよう頑張っていく所存です。今後とも、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。